



企画展

『青い芽』の版画展

—多磨全生園の中学生が彫った「日常」の風景—

2021年3月2日(火)～4月29日(木)

国立ハンセン病資料館 2階 企画展示室

【入館無料・要事前予約】

企画展 『青い芽』の版画展

—多磨全生園の中学生が彫った「日常」の風景—

つぼみは私の夢と同じだ
病気のつらさも
友達のいないさびしさも
夢はかまわずに
胸の中でふくらんでいく

S.Y「さくら」より

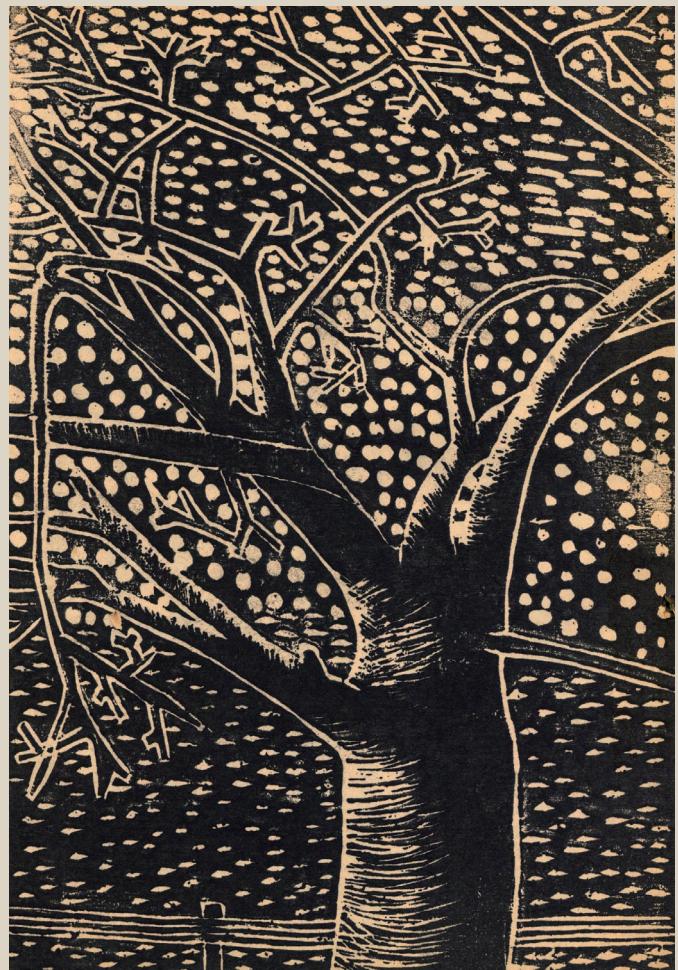
(『青い芽』第8号 東村山市立第二中学校全生分教室 1965年3月)

かつて多磨全生園に、地域の中学校の分教室があったことをご存じでしょうか。

東村山中学校全生分教室(のち東村山市立第二中学校全生分教室)は「らい予防法」が成立した1953年に開校し、1979年に最後の卒業生を送り出しました。すでにハンセン病が薬で治る時代になっていたころのことです。

子どもたちは療養所に暮らしながら治療を受け、小さな校舎に通い、退園をめざして日々を送りました。

本展では、分教室で編まれた卒業文集『青い芽』に収録された、子どもたちによる版画107点を紹介します。病気と隔離、そして将来への不安や希望に向き合う日々がゆたかに表現された作品群を、この機にぜひご覧ください。



「樹」第5号(1962年)より

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
| ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ |

【ちらし掲載作品】

- 第5号(1962年)より ②車 ⑯人物
- 第6号(1963年)より ⑥理科実験 ⑧文集「青い芽」発行 ⑩薪割り
- 第7号(1964年)より ①彫刻 ③校舎 ⑤掃除 ⑪教室 ⑬文集作成 ⑭反省会
- 第8号(1965年)より ④藤娘 ■第9号(1968年)より ⑫豚舎 ■第10号(1969年)より ⑦(無題) ⑨(無題)



■イベント情報■

いずれもオンライン開催・参加無料 詳細は当館公式Webサイトをご覧ください。

3月14日(日)14:00～朗読会『青い芽』の世界 療養所のなかの卒業文集

『青い芽』に収録された中学生の作文・詩、入所者である補助教師の随筆などを3人の俳優が朗読します。

当日先着100人まで(参加URLは決まりしだいお知らせします)

出演：中島聰／佐藤達(劇団桃唄309)／山西真帆(劇団桃唄309)

3月20日(土)14:00～担当学芸員による展示解説

要事前申し込み(先着100人まで)

申し込みURL公開・受付開始 2月20日(土)15:30(当館公式Webサイトより)

国立ハンセン病資料館 The National Hansen's Disease Museum

〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13
TEL: 042-396-2909 FAX: 042-396-2981
URL: <http://www.hansen-dis.jp>
休館日: 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、完全予約制での観覧となります。

10:00～11:30 / 13:30～15:00 各10名 ご予約は当館公式Webサイトより

※会期中、オンラインによる作品紹介を予定しています。詳細は決まりしだい当館公式Webサイト等でお知らせします。

※都合により予告なく会期等を変更することがあります。